

第4回 乗員政策等検討合同小委員会

日時 : 平成26年2月24日(月) 15:00~17:00

場所 : 中央合同庁舎3号館11階特別会議室

主なご意見・ご指摘

<中間取りまとめ(案)についてのご指摘>

■全体に関して

- 「はじめに」はもっと広い視点で全体的な話を冒頭に記載したほうが良いのではないか。航空施策が大きく変化する流れの中で、新たな人材という分野で取り組む必要が出てきたという主旨を書いてはどうか。
- 民間が航空ネットワークの充実に一義的に責任を負うと言及した上で国が経済社会の活性化や観光立国推進等のため一定の責任を負うと記載してはどうか。
- 今後の議論において、具体的方策の優先順位、実現性の評価、いつまでにどの程度まで実施するのかまで含めて議論できると良い。
- 航空の裾野を広げることの必要性を底流に含めて欲しい。
- 操縦士が不足することを世の中に知ってもらうということが重要である。

■操縦士の養成・確保に関して

- 自衛隊の割愛制度については、供給量としては多くないことを具体的に明示したほうが良いのではないか。
- 今後必要になる新規操縦士の需要について、「年間不足数が300~400人」という記述の近くに「年間不足数が200~250人」という記載があり紛らわしいため、表現を工夫した方がいい。

■航空機の整備士・製造技術者の養成・確保に関して

- MROについては技術力を磨く場であること等、国内でやることの意義を強調すべきではないか。
- 整備士・製造技術者に関しては、省庁横断的な取組が必要であることに触れるべきではないか。
- 航空に関する基礎的なことを学ぶ人を増やすため、新しい教育のあり方も検討すべきではないか。
- 整備士に関する記述が弱い印象。別紙2については操縦士と同じテーマを付けたほうが良い。